

米国油脂事業の成長戦略

2021年12月22日

上席執行役員 最高経営戦略責任者(CSO)

信達 等

1. 米国市場と油脂ビジネス
2. Fuji Vegetable Oil & Fuji New Orleans
3. Oilseeds社のご紹介・新会社設立の狙い

1. 米国市場と油脂ビジネス

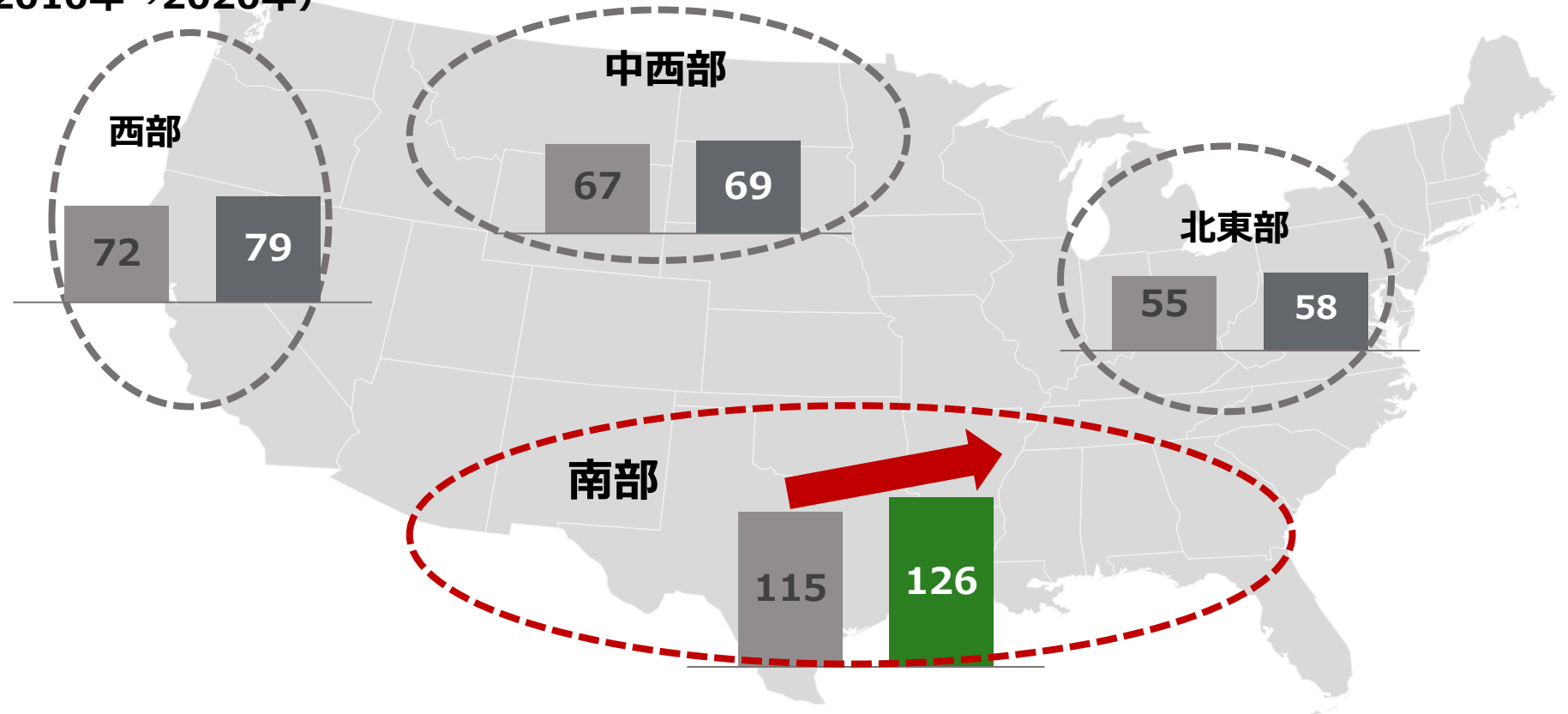
マクロ環境①米国のエリア別 人口動態

南部の人口増加数が最も多く、今後も増加の見通し

米国エリア別 人口推移 (2010年→2020年)

単位：百万人

出所：米国勢調査局



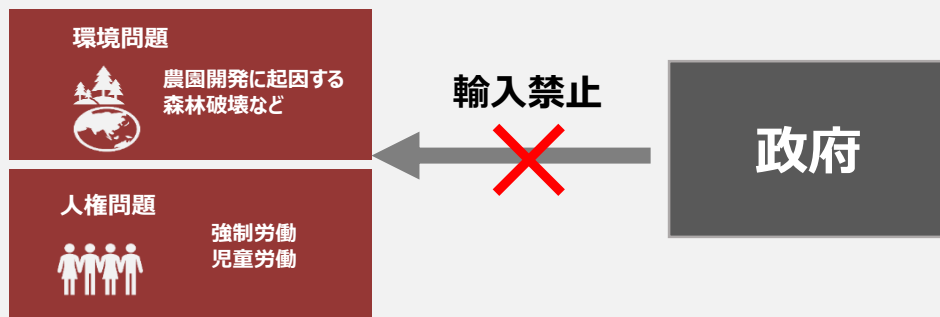
マクロ環境②サステナビリティに関する動向

各企業において**透明性の高いサプライチェーンの構築・リスク低減**の動きが加速。

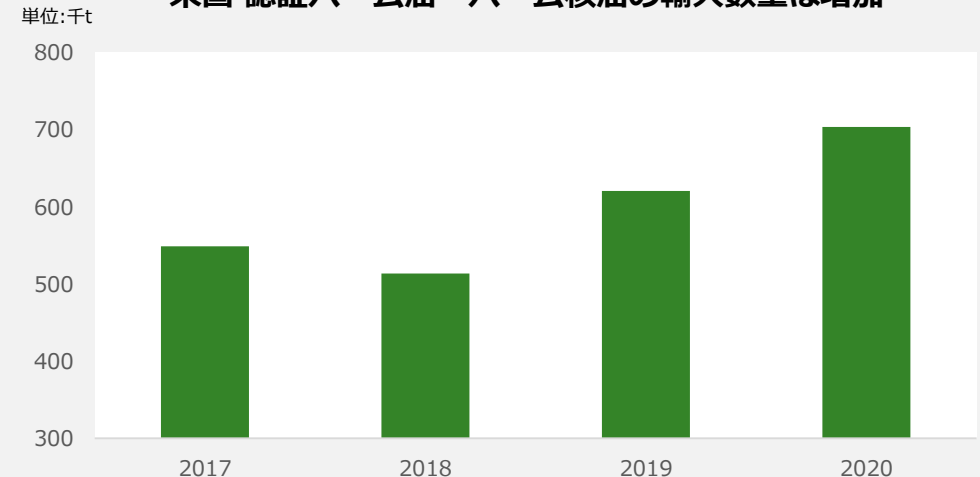
- ✓ 大手衣服企業の商品において、原料のサプライチェーン上での強制労働が疑われ、米国税関・国境警備局により製品の輸入差し止め。
- ✓ パーム油においては、マレーシアの大手パーム油企業の農園にて強制労働問題の指摘。米国税関・国境警備局が対象企業及びグループ会社の製品を禁輸措置に。

パーム油の事例

- ・ 当社も含む各社がサプライチェーン上のリスクを認識。
- ・ 顧客からは**認証パーム油**の引き合いが増加。



米国 認証パーム油・パーム核油の輸入数量は増加



引用：US輸入通関データ

油脂ビジネスとは

各油種の調合・加工により様々な物性や品質の設計が可能。
顧客が求める最終商品・用途に適した油脂を提供するビジネス。

各油脂の持つ特徴の組み合わせ・加工方法
(+製造条件調整)により、様々な物性・品質を実現

用途別、求められる物性・品質 (例)

様々な物性・品質

主な植物性油脂 (例)

主な加工

- A
- B
- C
- D

=



パーム油



大豆油

×



菜種油



ひまわり油

硬さを分ける

硬さを調整、
品質の安定化

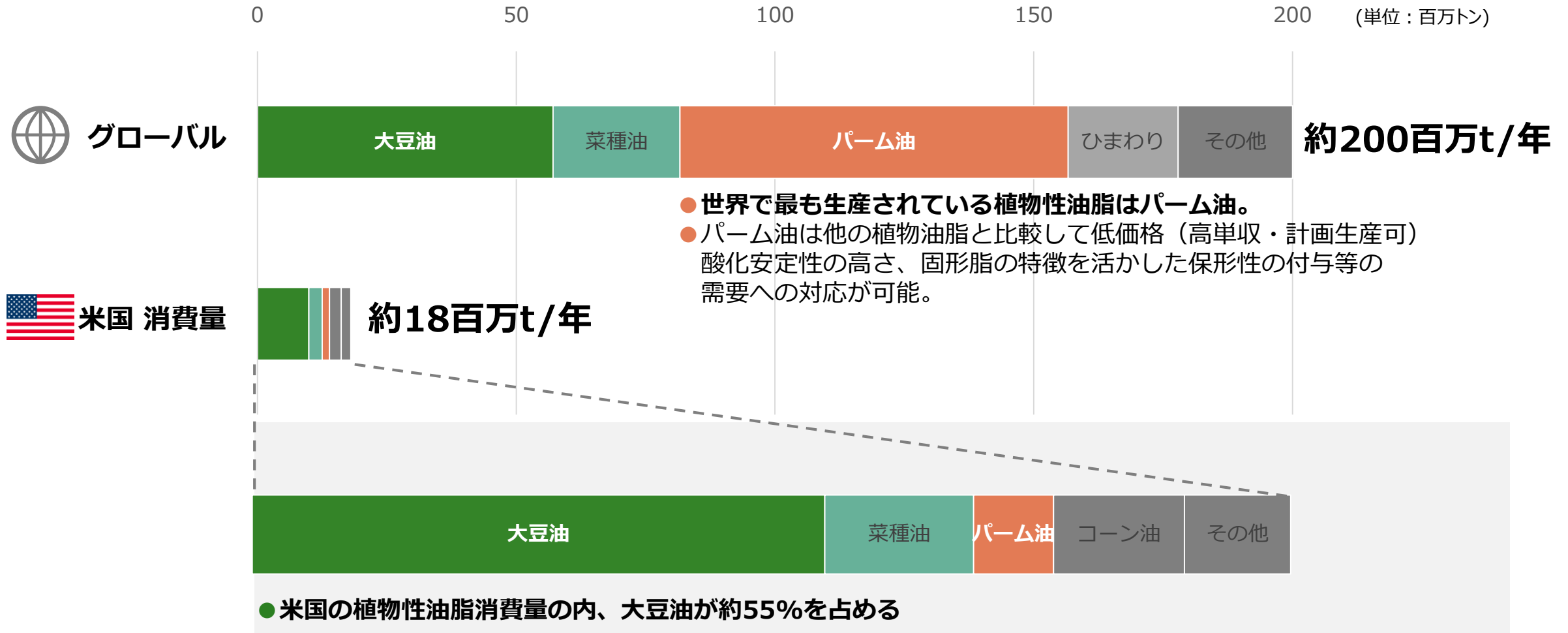
劣化抑制

調合

最終商品	特に求められる性質・物性
スナック菓子 ポテトチップス 即席めん 	<ul style="list-style-type: none"> ・美味しさ、酸化劣化のしにくさ
惣菜・揚げ物 (中食・外食) 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗での作業性の良さ = 常温で液体等
ニュートリション (育児粉乳、流動食) 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児粉乳→母乳と同等の脂肪酸組成 ・流動食→消化吸収の良い脂肪酸組成
マーガリン・ ショートニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンへの塗りやすさ (可塑性) ・保型性
チョコレート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ココアバター同等の口どけ (CBE) ・組合せ素材 (菓子・アイス) との口どけのバランス
アイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定温度での急速な溶解

世界の植物性油脂の生産量と米国の消費量

植物性油脂生産量（※非食品用途も含む）



2. Fuji Vegetable Oil & Fuji New Orleans

米国油脂事業：概要①



Fuji Vegetable Oil, INC. (以下 FVO)

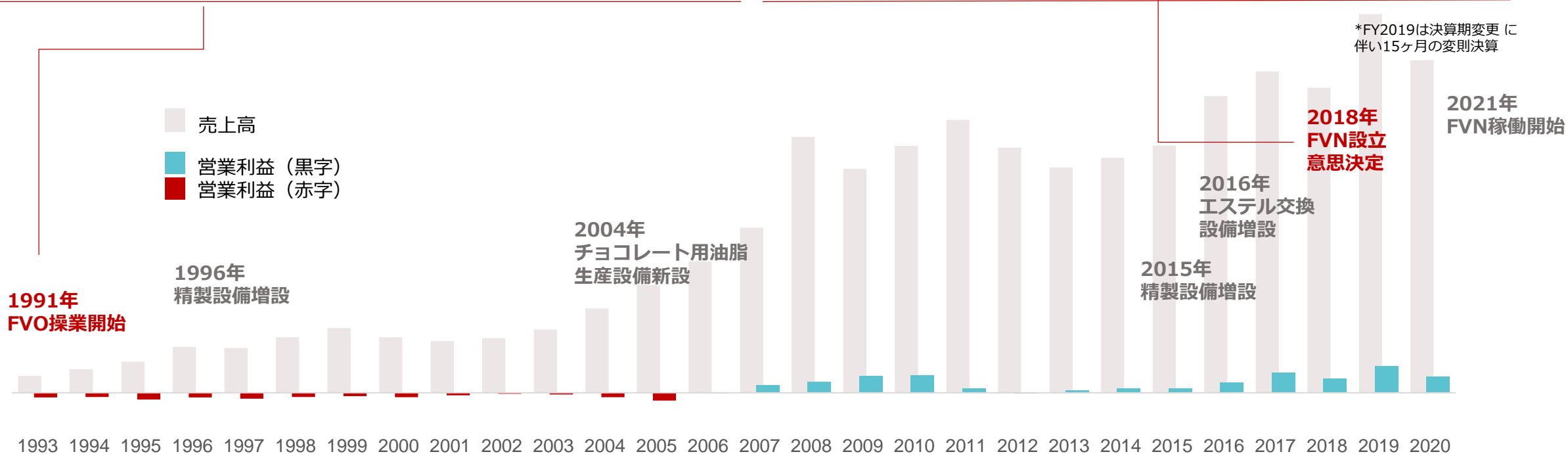
- ・所在地：ジョージア州Savannah
- ・敷地面積：約58,000㎡
- ・従業員：139名
- ・機能：生産・開発・品質管理・販売



Fuji Oil New Orleans, LLC. (以下 FVN)

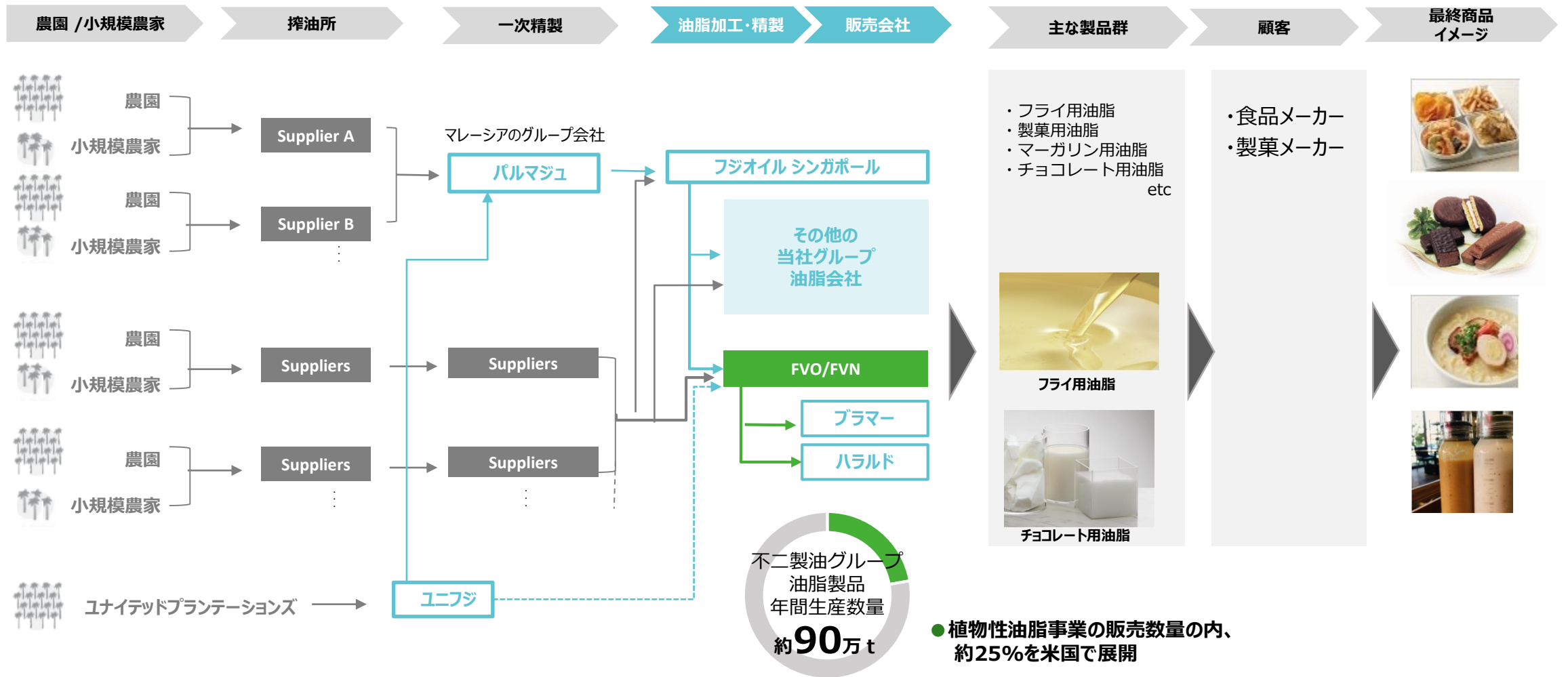
※FVOの100%子会社

- ・所在地：ルイジアナ州New Orleans
- ・敷地面積：約50,000㎡
- ・従業員：42名
- ・機能：生産・販売



北米油脂事業：概要②

米国油脂事業 サプライチェーン



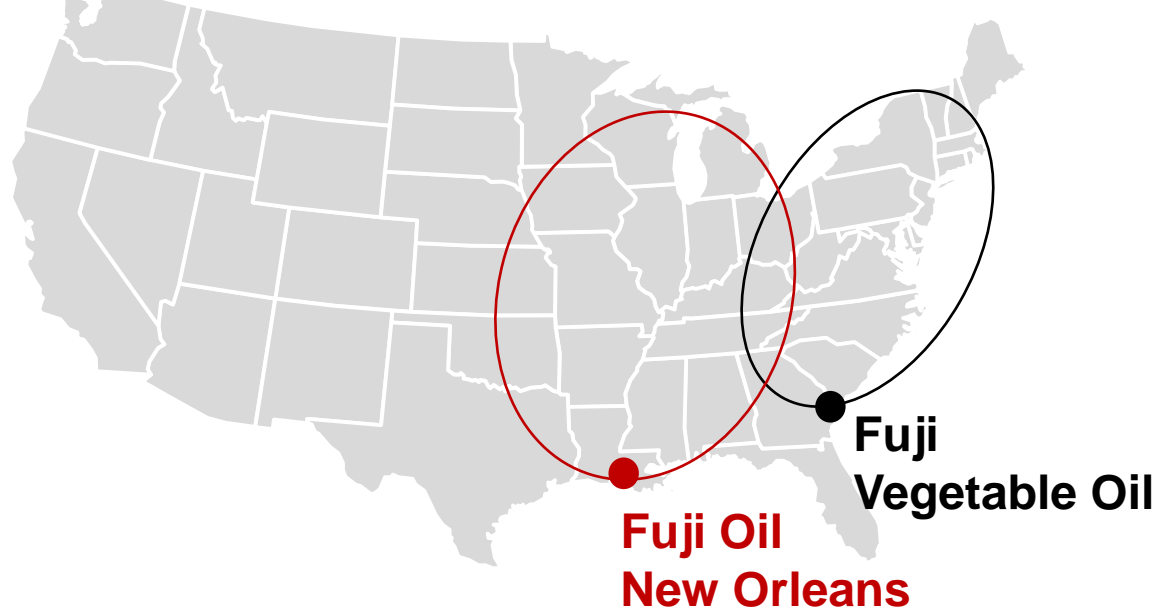
Fuji Oil New Orleans (FVN) 設立の意義

北米2拠点目の油脂工場として、2021年に稼働開始

販売エリアの拡大を目指し設立

- ・ 南部での人口増加による需要の獲得、販売エリアの拡大
- ・ 低トランス製法油脂による競争優位性の発揮
- ・ BCP対応（ハリケーン多発地域）

FVN稼働により展開エリアが拡大
主に南部エリアでの拡大を見込む



精製キャパシティの増加、拡販体制の確立

南方系油脂(パーム・パーム核・ヤシ) の米国企業精製キャパシティ



キャパシティは現状の**約1.6倍**に増加

バイデン政権下における動向

米国 クリーンエネルギー政策

【クリーンエネルギーとは】

生成する際に温室効果ガスを排出しない、もしくは排出が少ないエネルギー。**脱炭素化に向けて使用量の増加が見込まれる。**

【政策の概要】

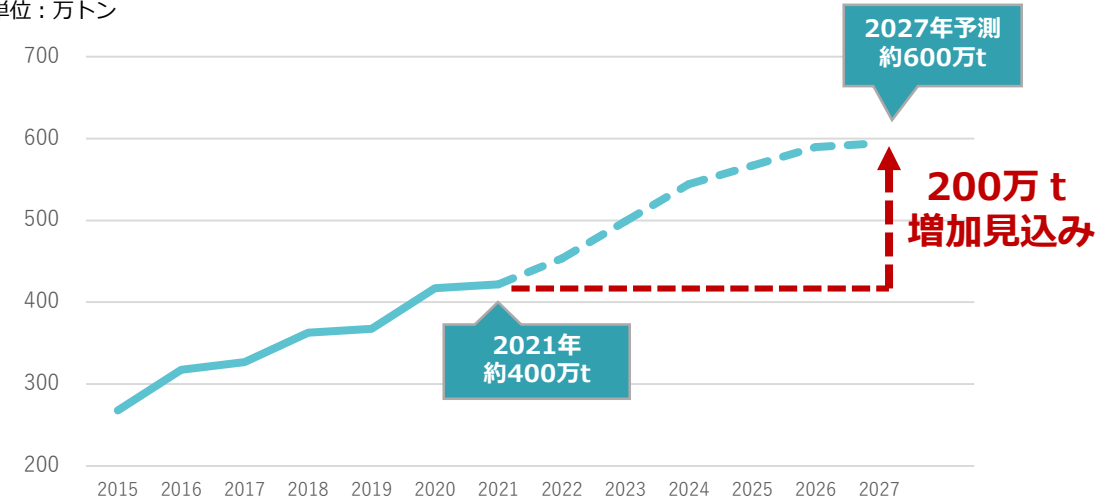
バイデン政権の経済政策の内、「米国雇用計画」（インフラ投資等）として、約1.7兆ドルの財源を確保。この中には選挙公約として掲げた「クリーンエネルギー政策」推進を対象とした税控除の延長（10年間）が含まれ、**一部の税控除は補助金として支給。**

【今後の動向と各社施策】

- ・クリーンエネルギーの内、約17%がバイオディーゼル燃料であり（2020年）、今後もバイオディーゼル用途の**米国大豆油の需要増加が見込まれる。**
- ・補助金確保によるマージン改善を見込み、**穀物メジャー各社は、バイオディーゼル向け油脂の供給体制拡大**に向けた戦略へ移行。

バイオディーゼル用途の米国大豆油需要は増加予測

単位：万トン



出所：StoneX社分析データを参考に一部調整

- ・バイオディーゼル向け大豆油の需要は2027年度までに**200万t増加**が予測される。
- ・製油各社が大豆油の生産量増加で対応するも、**全量カバーは出来ない見通し。**

当社機会

FVO・FVNの従来のSWOT

S	<ul style="list-style-type: none">品質、加工技術力安定供給CBEの原料ソースの自社内保有
W	<ul style="list-style-type: none">顧客がメーカーに偏重付加価値の低いポートフォリオ中部、西部でのプレゼンスの低さ
O	<ul style="list-style-type: none">人口増加による需要の拡大南部地域の食の多様化
T	<ul style="list-style-type: none">人権・環境リスクパーム需要増による競争激化

事業環境の変化

- + クリーンエネルギー政策による需給構造の変化
- + サステナビリティへの課題認識の更なる高まり

新たに認識する機会とリスク

機会

食用大豆油の供給量不足

→他の油種への置換需要（主に外食市場）に加え原料の多様化

リスク

パーム油のビジネスリスク増加

→サステナブル調達に加え原料の多様化

→新たな戦略へ

3. Oilseeds社の紹介・新会社設立の狙い

12月9日 リリース概要

・合併会社 Fuji Oil International Inc. の設立

Fuji Specialties, Inc.（当社米国エリア統括会社）とITOCHU International Inc.による北米での合併会社設立

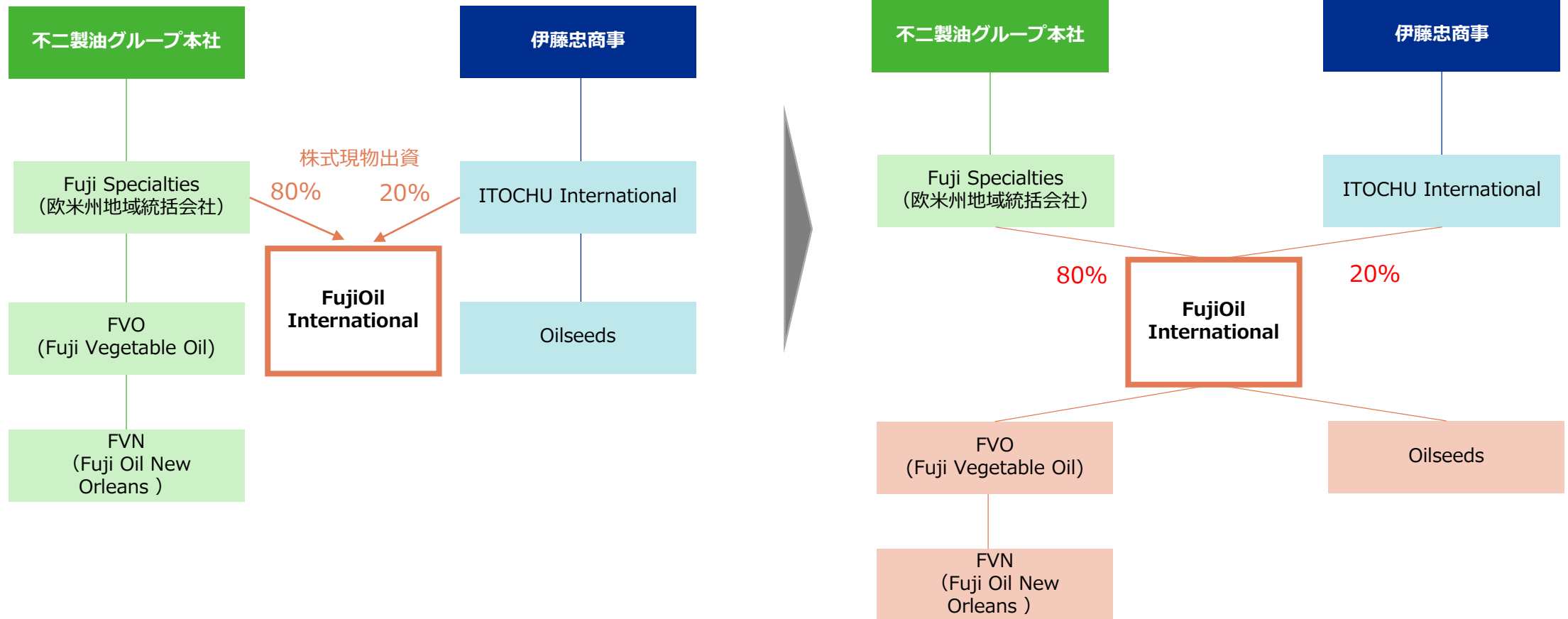
・目的

再生可能エネルギーの需要増加を背景とした米国油脂市場の拡大における、**展開市場の拡大**、**プレミアム植物油**(ひまわり油、米油等)の取りこみによる**製品ポートフォリオの拡充**、**付加価値製品群の拡販による収益拡大**

2. 設立する合併会社の概要

(1)	名 称	Fuji Oil International Inc. (仮称)	
(2)	所 在 地	1209 Orange Street, County of New Castle, Wilmington, DE, 19801, U. S. A.	
(3)	代表者の役職・氏名	六川 尚宏 (Fuji Specialties, Inc. President)	
(4)	事 業 内 容	北米油脂事業の統括会社	
(5)	資 本 金	317 百万米ドル	
(6)	設 立 年 月 日	2022 年 3 月 (予定)	
(7)	大株主及び持株比率	Fuji Specialties, Inc. 80% ITOCHU International Inc. 20%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。

出資スキーム



概要

Oilseeds International, Ltd.

- ・ **所在地**
： サンフランシスコ
- ・ **従業員**
： 約20名
- ・ **販売油種**
： 高オレイン酸ヒマワリ油、米油
紅花油、菜種油等
- ・ **機能/特徴**
： 油脂の製造委託と販売
持分法適用会社として、米油調達、
製造会社を保有。

主要製品の特徴と事業スキーム

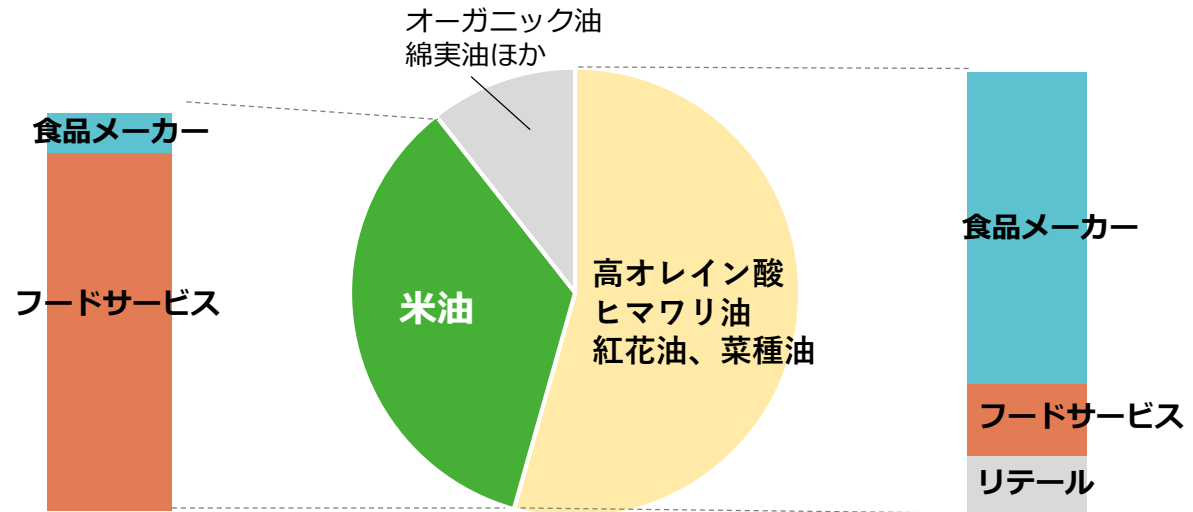
米油

- **特徴**
： 加熱安定性に優れ、フライ油を中心に多く消費される
- **用途**
： フライ用、炒め用
- **Oilseedsの特徴**
高品質な米産の「米油原料」の調達網を保有
北米における米油トップシェア

高オレイン酸ヒマワリ・紅花油

- **特徴**
： コレステロール値の低下等の効果のあるオレイン酸を
多く含む油脂。
- **用途**
： フライ用、乳児ミルク用
- **Oilseedsの特徴**
高オレインひまわり種子、紅花油種子を調達し、
製造加工を委託・販売

油種と展開市場の内訳



プレミアム液油のサプライチェーンと販売ネットワークを保有

- ・米油、高オレイン酸ヒマワリの原料ソース、委託搾油/委託精製システムを国内外で構築。
- ・西海岸をはじめ各エリアにおける委託精製スキームをベースに、米国全域にタイムリーな原料供給が可能。

オーガニック油の展開

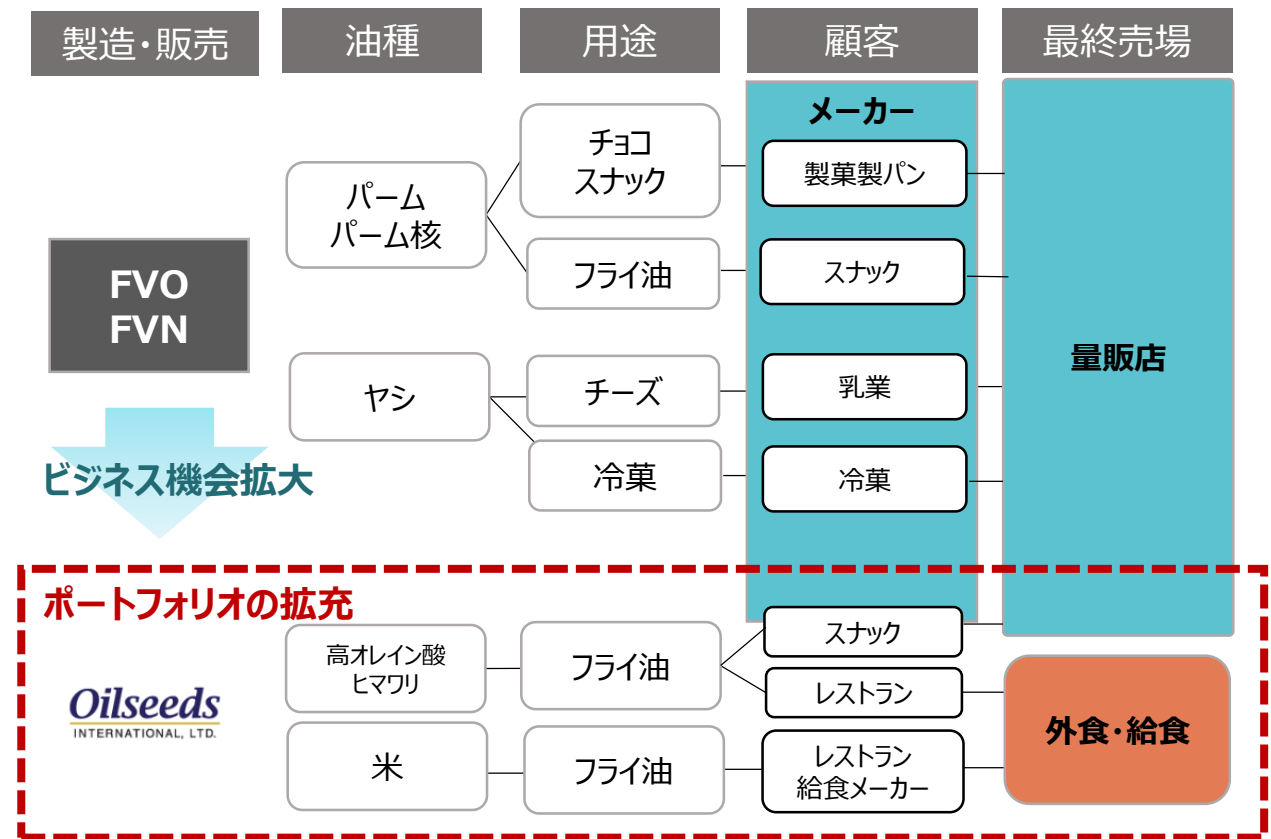
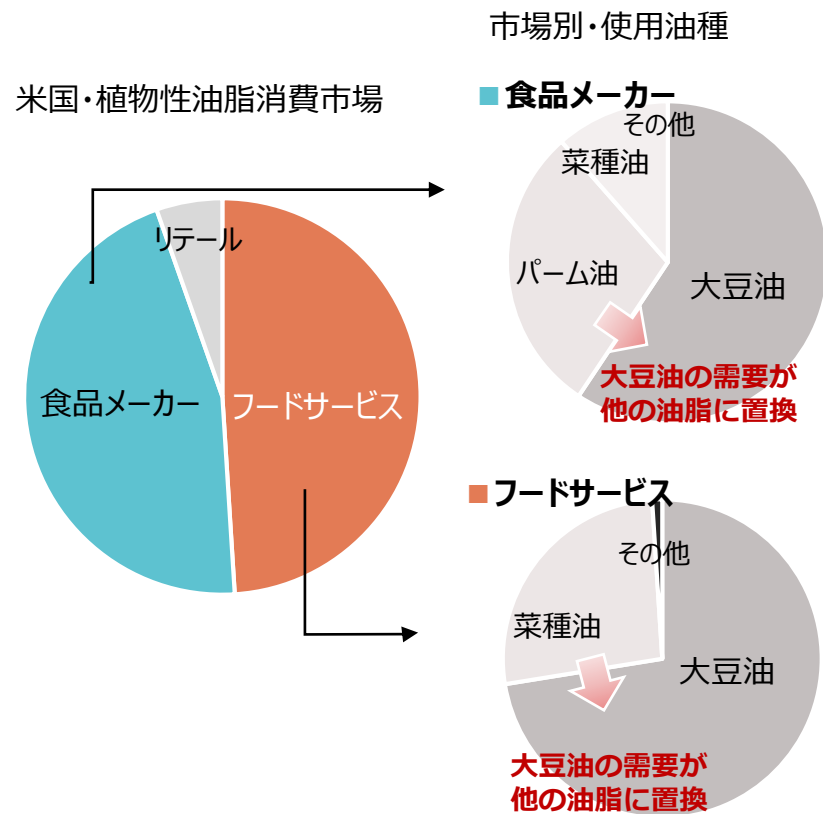
- ・製造委託により、米国全域の客先に対しタイムリーな原料供給が可能。

フードサービス市場での強み

- ・北米のフードサービスで展開している上位10社のディストリビューターうち、6社へのアカウントを保有。
フードサービスへの販売網を確立。（FVO/FVNはフードサービスのディストリビューターへのアカウントを非保有）

合併会社設立の狙い①：フードサービス市場への事業ポートフォリオの拡大



- ・プレミアム油の確保による**フードサービス市場へのポートフォリオの拡充**
- ・Oilseeds社顧客への**ビジネス機会の創出**（大豆油のバイオディーゼル用途増による置換含む）



合併会社設立の狙い②原料ソースの多様化によるビジネスリスクへの対応

- ・環境/人権問題を抱えたパーム農園の原料は、政府主導で輸入が停止されるケースあり
- ・農園の課題解決への取組みに加え、**原料の多様化**によるサプライチェーン上のビジネスリスクへ対応

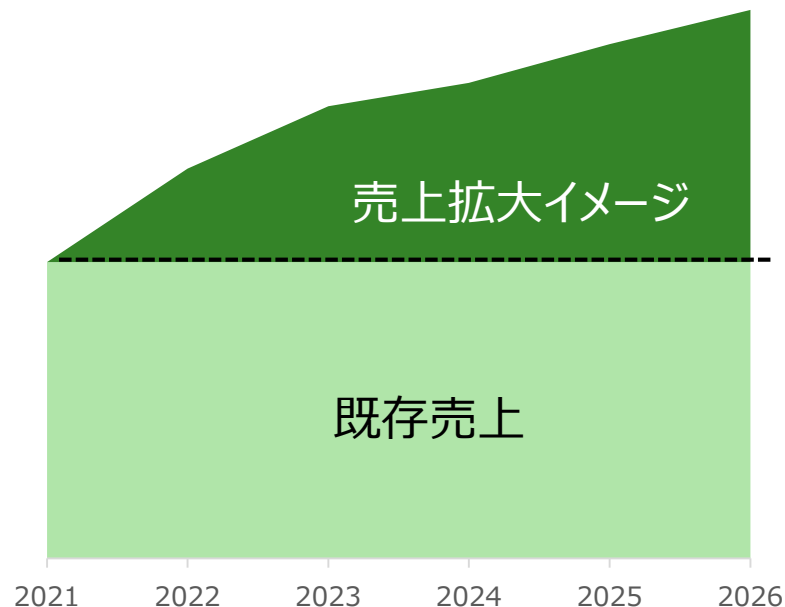
北米の主要油脂会社の取扱い油種

主要油脂会社	取扱い油脂原料									
	大豆	菜種	コーン	ヒマワリ	綿実	高オレインヒマワリ	高オレイン菜種	高オレイン紅花	米	パーム パーム核 ヤシ
A社	○	○		○						○
B社	○	○	○	○	○					○
C社	○	○	○			○	○			○
 FVO/FVN						○				○
 Oilseeds					○	○	○	○	○	

中長期成長イメージ

大きく変化する米国油脂市場における、
フードサービス市場・製品ポートフォリオの拡大による収益拡大を目指す

売上高推移イメージ（～2026年度）



米国油脂事業の成長

成長ドライバー

- ・FVNの稼働、販路の拡大
- ・グリーンエネルギー政策による大豆油の切替需要の獲得

- ・FVO/FVNとOilseedsの双方の強みを活かした販路拡大、新規顧客の開拓

機能の強化

- ・伊藤忠商事の人材面・機能面のサポートを得て、FVO/FVNのミドル・バックオフィス機能を強化。